



学校報  
第22号

にこにこ きらきら ゆめにむかって

# おともがわ

みんなで育む 豊かな心・健やかな体・確かな学力

令和5年度  
大仙市立内小友小学校  
令和5年9月21日

9月20日  
学習発表会予行

## 学習発表会予行を行いました!



全校音楽 合唱「いっだって!」

明後日23日(土)の学習発表会に向けて、昨日予行を行いました。現在、各学年や委員会、器楽部の子どもたちが一生懸命頑張っています。保護者の皆様には、衣装や小道具等でご協力をいただき、感謝申し上げます。

これまでの熱心な練習に裏打ちされた自信を胸に、本番では最高のパフォーマンスを見せてくれることと思います。学校としても、子どもたち一人一人が、「やってよかった」という達成感や成就感を味わえるような学習発表会にしたいと考えております。



器楽演奏

当日は子どもたちが笑顔で活躍する姿をごゆっくり鑑賞され、ぜひ温かいご声援をいただきますようお願いいたします。



1年生



2年生



3年生

ご家族の皆様のお越しをお待ちしております。



4年生



5年生



6年生

## 秋の全国交通安全運動



9月21日(木)~30日(土)まで、秋の全国交通安全運動が行われます。地域の皆様にも通学路の各所で街頭指導を行っていただき、感謝申し上げます。

本校の通学路には、車の交通量が多かったり、道幅が狭かったりするところも多く、歩行に細心の注意を要する箇所が見られる中、地域の皆様から街頭指導をしていただき、大変心強く感じております。また、内小友交通安全会の〇〇会長さんには、年間を通して街頭指導をしていただき、改めて感謝申し上げます。



# 令和5年度 全国学力・学習状況調査 結果と分析



## 【児童質問紙】の結果より

前号の学校報「おともがわ」で「令和5年度全国学力・学習状況調査」の「国語・算数」の結果を紹介しましたが、今回は「児童質問紙」の結果についてお知らせします。この調査では、6年生を対象に学習に関することや生活に関することについて、約60項目の質問が出されています。本校児童の結果について、特徴的なものをお知らせします。

※「番号」は質問紙調査の番号、数字は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合(%)です。

番号	質問事項	本校 (%)	秋田県 (%)	全国 (%)
1	朝食を毎日食べていますか。	92.9	95.2	93.9
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	100	92.9	90.5
4	自分には、よいところがあると思いますか。	100	87.1	83.5
7	将来の夢や目標を持っていますか。	100	87.8	81.5
8	人が困っているときは、進んで助けていますか。	100	93.4	91.6
9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	100	98.2	96.9
10	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	92.8	73.7	68.5
11	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	100	98.1	95.9
12	学校に行くのは楽しいと思いますか。	100	87.7	85.4
13	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	100	83.0	76.6
14	友達関係に満足していますか。	100	91.5	90.3
16	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	92.8	85.7	70.7
23	新聞を読んでいますか。	35.7	16.2	12.6
24	読書は好きですか。	78.5	74.1	71.8
26	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	100	87.4	76.8
36	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	100	85.9	81.8
37	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	100	85.7	77.4
40	学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。	100	87.0	77.2
41	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。	100	85.1	75.7

児童質問紙の調査結果によると、本校の6年生は、ほとんどの項目で良好な状況にあることが分かりました。特に、6年生全員が、「自分にはよいところがある（自己肯定感）」と感じ、「将来の夢や目標を持っている」ことは大変嬉しいことです。また、思いやりの心や正義感、人の役に立ちたいという思い、社会性等、これからの人生を切り開いていくための基盤がしっかりとできていることも大変頼もしく感じます。これらのよさを下級生にも広げ、子どもたちが目標に向かって生き生きと学ぶ学校づくりに、今後も取り組んでいきたいと思ひます。

